

# 実践

## — ペンキ塗装 —

DIY と言っても、その中にはいろいろな種類の作業があります。ここでは、その作業の中でもオーストラリアでは比較的身近で、多くの人が気軽に行なっているペンキの塗装方法を紹介します。今回、塗装方法について教えていただいたのは、パースのペンキ塗装職人（ハウスペインター）の内藤茂樹さんです。

### ペンキ塗装のプロ

■内藤 茂樹さん  
ないとう しげき

日本でペンキ塗装職人として20年以上の経験があり、オーストラリアに移住後も職人として仕事を続ける。キャリア40年以上の大ベテラン。



### 必要な工具

1 ペンキ Paint

油性よりも水性のものがお勧め。初心者だと油性はムラが出てしまい、後片付けも大変。

2 刷毛 Brush

細部や壁などの端を塗るのに使用する。

3 ローラー Roller

広範囲を塗るのに使用する。頻繁に使わなければ、スポンジは使い捨てでOK。

4 延長ポール Extention Pole

高所を塗る時に、ローラーに装着する。



### 作業工程

1 壁の汚れや埃をとる。

2 他の部分が汚れないように養生する。

- 下に引く養生マットは布製のものがお勧め。ビニールシートだと、こぼれたペンキが乾かずに靴底に着き、その靴で歩くと、地面に足跡をつけてしまう可能性がある。

- 塗りたくない場所にはマスキングテープを貼ると良いが、ペンキがにじむ可能性があるため、貼っていてもなるべくマスキングテープの上は塗らないようにする。

3 刷毛で細部を塗る。

- ・刷毛は鉛筆を握るように持つ。その方が折り返す時にスムーズにできる。→ ①
- ・ペンキを刷毛につけたら、周囲にペンキをこぼれないように手首を返す。→ ②
- ・右利き人は右から塗っていく。そうすると手が滑らかに流れるように動き、塗りやすい。
- ・刷毛を壁から離す時は留めるのではなく、払うようにする。



4 ローラーで広い面を塗る。

- ・ペンキの垂れ防止として、ローラーは垂直（縦）方向に動かす。
- ・塗装膜の凹凸を防ぐために、一度塗ったら乾燥させ、乾いた後もう一度塗る。
- ・天井を塗る際には、真上にローラーがこないようにする。



5 後片付けする。

### 内藤さんのコメント

「日本人の方の多くは『自分ではできない』と思い込んでしまっているので、挑戦されようとしません。でも、プロがやったような仕上がりではなく、結果的に見た目がきれいになればそれでいいのですから、臆さずに挑戦してもいいと思います。」

